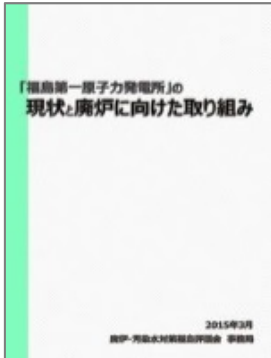


パンフレット『「福島第一原子力発電所」の現状と廃炉に向けた取り組み』 改訂のポイント



「福島第一原子力発電所」の
現状と廃炉に向けた取り組み
(2015年3月
廃炉・汚染水対策福島評議会 事務局)

現状のパンフレットについて、下記の点を補いながら、改訂したいと考えています。

1

全編がQ&Aのみで構成されているため、情報が断片的となっており、全体像がつかみづらい。

2

施設写真が少なく、リアリティに欠けている面がある。

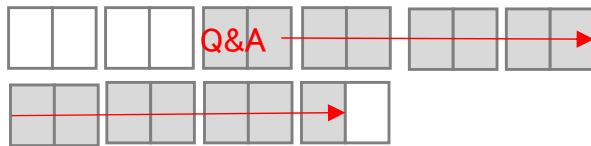
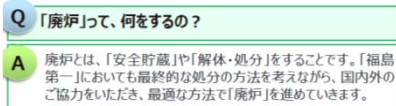
3

事故当時と現在の比較をまとめたものがないため、全体の進捗感が分かりづらい。

全編がQ&Aのみで構成されているため、情報が断片的となってしまう、全体像がつかみづらい。

現状

現状のパンフレット「全体をQ&Aで構成」



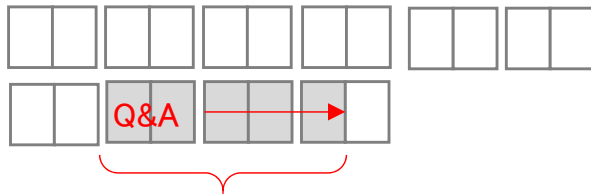
Q&Aを用いた説明は、端的で分かりやすくなる反面、情報が断片的になるため、全体像をつかみにくいデメリットもあります。

現行のパンフレットは、全編を通して「Q&A」で構成されているため、情報の出し方を見直す必要があります。

全体像をつかみやすい紙面構成に。

改善

例えば、Q&Aは後半にまとめる



Q&Aは後半ページにコーナーを設け、住民の不安に沿った内容を盛り込みます

多岐に渡る情報の中から、大切な部分だけを伝えることができる「Q&A」のメリットも活用しながら、全体像をつかみやすい紙面構成を検討します。

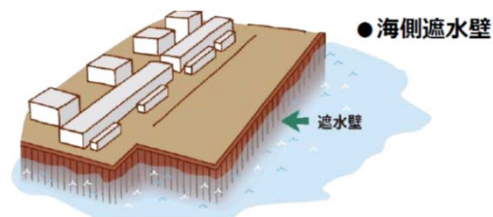
Q&Aは後半にまとめて、前半ページで原発の今の状況を分かりやすくお伝えするページを設けます。

2

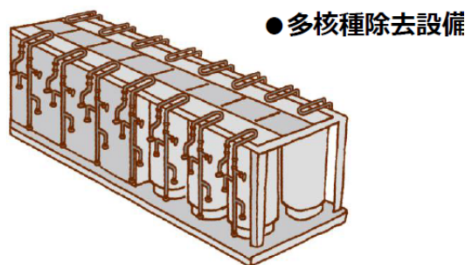
施設写真が少なく、リアリティに欠けている面がある。

イラストは必要最小限にします。

イラストを多用した紙面は、分かりやすくなる反面、リアリティがなくなるというデメリットに繋がることがあります。



現状



改善

臨場感があり、リアリティのある紙面に。

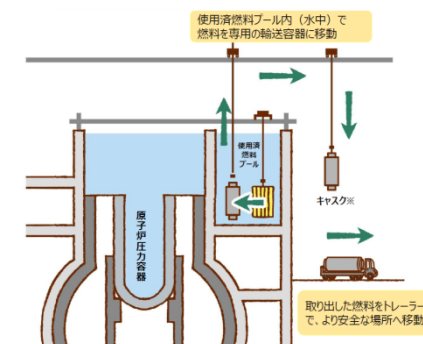
イラストは、複雑な施設の内部構造や、全体フロー等を表現するのに最も適していますが、それ以外の建屋の状況や、凍土壁などは写真を掲載することで、より安心感を伝えることができます。



●多核種除去設備

◎全体図やフロー図はイラストが分かりやすい

このような構造解説はイラストが分かりやすいため踏襲。



全体イメージ等

3

事故当時と現在の比較をまとめたものがないため、全体の進捗感が分かりづらい。

事故当時と現在の様子を比較しながら、全体像をとらえやすいページを盛り込んでいきます。

事故当時 現在

海側エリア

事故当時 現在

事故当時 現在

3号機

事故当時 現在

4号機

電所 構内配置イメージ図

事故当時 現在

2号機

事故当時 現在

事故当時 現在

1号機

溶接型タンク

事故当時 現在

<目次(案)>

1. 福島第一原子力発電所の「今」

○事故当時から今【イメージは前頁】

○福島第一原子力発電所における主な対策

➤ 廃炉作業

- ・ 使用済燃料プールからの燃料取り出し
- ・ 溶けて固まった燃料の取り出し

➤ 汚染水対策

2. Q&Aコーナー

3. (参考)放射線の基礎知識



<紙面イメージ>

使用燃料プールからの燃料取り出し

溶けて固まった燃料の取り出し

原子炉建屋の除染の実施

原子炉の状況把握

汚染水対策 汚染水への取り組み

方針1 汚染源を「取り除く」

放射性物質除去設備

セシウムとストロンチウムを重点的に除去

その他の放射性物質を除去

大半の放射性物質を除去 (トリチウムを除く)

トリチウムとは?

方針2 汚染源に水を「近づけない」

地下水バイパス 陸側遮水壁

方針3 汚染水を「漏らさない」

海側遮水壁 タンクの増設

5

